

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890100302
法人名	佐藤循環器科内科
事業所名	グループホーム朝生田の里
所在地	愛媛県松山市朝生田町4丁目10-25
自己評価作成日	平成23年7月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年8月10日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

当施設は、ほとんどの利用者が週3回透析を受けておられ、食事や水分、運動制限などがある中で生活されています。そのような生活の中から利用者一人ひとりが楽しみや生きがいを見つけられるよう毎日のレクリエーションや月別レクリエーションは、職員が一丸となって楽しんで貰えるよう趣向をこらしています。誕生日には行きたい場所にいけるよう一人ひとりの希望に添って個別支援も実施しています。また、体育祭や敬老会には地域にも出かけて行き交流を持っています。利用者の笑顔が多く見れるようコミュニケーションを取りながら寄り添い安心して過ごして頂けるよう支援しています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

運営推進会議を「里の集い」と名付け、ご家族や地域の方々お気軽に参加できるようにネーミングを工夫されている。さらに、ご家族へは「どんな会なら参加してみたいか」、「参加しやすい時間帯」、「知りたい内容」等について、アンケートを取り、多くのご家族が関心を持って参加して下さるよう努められ、この一年間、さらに意義ある会議が開催できるよう取り組まれた。  
職員は、自主的にエコプロジェクトを立ち上げられ「透析中の利用者の居室のエアコンは消しましょう」「紙も資源の一部大切に使いましょう」と掲示して、節電や節水、紙の使いすぎに気を付けるよう取り組まれている。  
食事制限のある利用者も、時には、食べたいものが食べられるように柔軟に対応されている。また、利用者がお世話して実ったキュウリで酢の物やサラダを作り、みなで楽しむこともある。外で芋炊きやバーベキューを楽しむこともある。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム朝生田の里

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名 三橋 幸江

評価完了日 2011年 7月 30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)	
			三つの理念を掲げ職員間で共有している。特に「地域との密着」を課題にあげ、地域との触れ合いを大切にしている。	
			(外部評価)	
			理念に沿ったケアができていくかということを職員で話し合 いながら、ケアに取り組んでおられる。利用者は、透析治療 を受けながら生活しておられる方も多く、食事や行動等、い ろいろな面で制限がある中、地域行事や外出等、利用者の 体調や希望に合わせ支援できるよう努めておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価)	
			地域の運動会や敬老会等の行事には、利用者が勧んで参 加できるようスタッフが支援している。また、施設が主催して 行う夏祭りには、地域の方々がたくさん来て下さり、地域との 交流を深めている。	
			(外部評価)	
			散歩時、近所の方に「ふうせんかずら」の苗をいただき、事業 所の中庭で大切に育てておられる。地域の夏祭りは、利用 者と職員で出かけて、スイカを食べたり盆踊りを踊って楽しま れた。法人の夏祭りには多くの地域の方、地区婦人会、三味 線、フラダンス等のボランティア、近くのグループホームの利 用者や職員の参加もあり、楽しく交流された。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価)	
			運営推進会議の中で認知症の人についての理解や支援の 方法を話したり、個別の事案についても相談にのっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 二ヶ月に一回開催している運営推進会議で、グループホームが取り組んでいる事柄・日常生活の様子・近況報告等を話し、参加して下さってる方々の意見をお聞きしている。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議を「里の集い」と名付け、ご家族や地域の方々が気軽に参加できるようにネーミングを工夫されている。さらに、ご家族へは「どんな会なら参加してみたいか」「参加しやすい時間帯」「知りたい内容」等について、アンケートを取り、多くのご家族が関心を持って参加して下さるように努められ、この一年間、さらに意義ある会議が開催できるよう取り組まれた。会議は、利用者の日々の暮らしをスライドを使って紹介されたり、透析治療に多くの水が必要になるため、近くで上水道管の破損があった際のことについても状況報告をされた。民生委員の方や近所の方からは、公民館での催し物についての情報を教えてもらっている。年間では、夏祭りやお花見等の行事に合わせた会議等も行い、メンバーの方達と親睦を深めておられる。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議やグループホーム連絡協議会には、市役所や統括支援センターの職員が必ず参加下さり、ケアのアドバイスや相談にのって頂き協力関係は築けている。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時、市の担当者から、他事業所の取組みや地域とのつきあいのアイデア等を教えていただくこともある。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) マニュアルを設置しており、スタッフ全員が身体拘束をしないケアの理解をし取り組んでいる。</p> <p>(外部評価) 身体拘束について事例を挙げて、すべての職員で考えたり話し合いながら、意識を一つにして拘束をしないケアに向けて取り組まれている。法人の「身体拘束廃止委員会」が行う研修等にも参加されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 外部研修や院内研修でスタッフ全員が学ぶ機会を持ち理解を深め、虐待が起こらないよう努めている。また、入浴時には、身体状況の確認を行っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 外部研修や院内研修でスタッフ全員が学ぶ機会を持ち、成年後見制度が必要と思われる利用者の相談にのっている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に責任者が十分な説明を行い納得して頂いている。ご家族から不安や疑問点等があれば、その都度十分な説明を行うよう心がけている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 各階に意見箱を設置している。ご家族が面会に来られた時には、近況報告をし意見や要望を聴かせて頂いている。利用者・ご家族の意見を大切にしている。 (外部評価) 年4回発行されているホーム便り「朝生田の里」には、日々の利用者や事業所の様子の写真を多く載せておられ、ご家族にも喜ばれている。ご家族の来訪時には、利用者の様子を報告して意見をうかがったり、法人内の異動等、職員が入れ替わった際にも伝えておられる。又、遠くに住むご家族へは電話で報告をされている。事業所の夏祭りやお花見等の行事の際には、ご家族もともに楽しめるよう案内されており、ご家族同士でお話する機会にもなっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日頃から話しやすい環境にあり、ミーティングやカンファレンスを通じて意見を反映させている。	
			(外部評価) 法人内研修は、同じ内容の研修が、月7回開催されており、職員はそれぞれの勤務状況に合わせて受講されている。職員は、自主的にエコプロジェクトを立ち上げられ「透析中の利用者の居室のエアコンは消しましょう」「紙も資源の一部大切に使いましょう」と掲示して、節電や節水、紙の使いすぎに気を付けるよう取り組まれている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 年末に研修参加や学会発表等の報告書を提出し、日頃の勤務状況、仕事への取り組み等を評価し査定して賞与に反映されている。スタッフもやりがいを感じて働ける職場環境である。	
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 今年度は院内研修を積極的に行い、スタッフ全員が学ぶ機会を確保している。外部研修への参加もPCや書面で促し、個々で勧んで参加するよう喚起している。	
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) グループホーム連絡協議会や市や県が主催の研修に参加して他の施設の職員と交流する機会を持ちネットワークを広げ、サービスの質の向上に努めている。	
			(外部評価)	
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居時には環境に早く慣れて頂けるよう声かけや傾聴を十分に行い、信頼関係が築け安心して生活していけるよう関係づくりに努めている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 面会時や行事参加の折に、家族の意見や要望をお聞きしている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人や家族の希望をお聞きし、スタッフ全員でカンファレンスを行いケアプランを作成している。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 本人のペースに合わせ、寄り添う事で一緒に生活していると思えるよう関係作りに努めている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 行事参加や面会をお願いしたり、遠方であり来られない家族には近況報告の電話をしたりして家族との絆を大切にしている。また病院受診時には、家族に連絡を取り付き添いの協力をお願いしている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 友人や知人、親戚の方等が訪ねて来やすい雰囲気作りに努めている。また個々の希望に沿って行きたい場所にもお連れするよう支援している。 (外部評価) タクシーを利用して馴染みの美容院へ出かける利用者もあり、タクシーの運転手の方に職員が行き先を伝え、帰りは美容院の方がタクシーに頼んでくださって、利用者が一人で歩き来できるよう支援されている。ご本人が書いたご家族宛ての手紙を、郵便局に出しに付き添われることもある。ご自宅へ外泊されたり、カラオケや回転寿司、高島屋での買い物等、それぞれのこれまでの馴染みの場所や楽しみごと等が続けられるように支援されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 食事やおやつの時等に利用者同士の関係を大事にして、スタッフが声かけや対話を促し孤立しないよう支援している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 他施設に変わられた方や退去された家族から手紙や電話を頂いたりしてこれまでの関係を大事にして相談にも応じている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常の会話の中から本人の暮らし方、希望や意向を把握し個々の希望に添えるよう努めている。 (外部評価) 利用者が希望されている暮らし方や要望を日々の話しの中から把握されている。意思表示が難しいような利用者は、しぐさや表情等で把握できるよう努めておられる。アセスメントツールのソフトを導入されて、入居時、その後、現在と情報の蓄積をされている。「職員や利用者の顔と名前が覚えたい」と言われる利用者の思いを汲み取り、みな顔写真と名前が載せてあるミニアルバムを作られた。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時に家族から生活歴をお聞きしている。また、日常の会話からも生活歴や生活環境の把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日常生活を良く観察し、心身状態の変化や現状の把握に努めている。またミーティングやカンファレンスでスタッフ間の情報の共有を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎月一回スタッフ全員参加でカンファレンスを行い、利用者の情報を共有している。必要に応じて医師・栄養士・PTに助言を貰い、本人や家族の希望に添えるようケアプランを作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>透析治療を受けている利用者は、医師や栄養士、利用者の健康上必要な関係者とも話し合い、ご家族の意見も反映して介護計画を作成しておられ3ヶ月ごとに見直しされている。誕生日等に、行きたいところに出かけられるよう介護計画に盛り込みながら支援されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケース記録に記入したり、PCの日誌等に入力してスタッフ間で情報を共有しながら、実践やケアプランの見直しに活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>医療の連携体制を活かし状況や個々の要望に応じて個別のサービスが行えるような体制を取っている。運営推進会議等からの意見も取り入れている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>出来る限り地域資源を活用出来るよう本人の希望に沿って支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 離接している母体病院の主治医により定期的に診察を受けている。本人・家族の希望があればかかりつけ医に受診出来るよう主治医が紹介状を書き、適切な医療が受けられるよう支援している。	
			(外部評価) 事業所と法人医療機関は、通路でつながっており、利用者は職員とともに受診や透析治療に行かれている。又、状態によっては事業所に往診にも来てくださっている。他医療機関の受診を希望される場合には、母体病院で紹介状を書いてくださるようになっており、ご家族が付き添って受診されている。歯科は訪問診療を受けておられる。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 看護師が常勤し、離接の母体病院の看護師にも体調の変化があれば相談し、適切な指導をして貰えるよう支援体制が取れている。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 入退院時にサマリーを通じて情報の共有をスムーズに行い早期に退院できるよう病院関係者とも連携を取っている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 入居時に説明を行っており、看取りについての指針がある。病状が重度化している時は、主治医と家族が話し合いが持てるように支援している。また本人・家族の希望に添えるようチームで支援している。	
			(外部評価) 入居時、ご本人、ご家族に終末期のあり方について希望を聞いておられ、その後、重度化した場合等、ご家族は主治医と話し合いを持ち、事業所で看る場合は、利用者やご家族の希望に沿えるように、「どのような支援ができるか」ということを職員で話し合っておられる。ご家族も事業所に泊まり、職員とともに看取られた事例もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)  院内研修を行い、スタッフ全員が実践出来るようにしている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)  年2回消防訓練を行っている。5月には、エレベーターを使わず階段からレスキューシートを使って利用者を降ろす練習を行った。	地域の協力者を増やしたり、又、ともに事業所で避難訓練を行う等、事業所の建物の条件や利用者の状態、又、時間帯等、いろいろな場面を想定して避難訓練を重ね、いざという時、すべての利用者、職員が安全を確保できるような方法を見つけていかれてほしい。
			(外部評価)  併設の母体病院と合同で避難訓練を行っておられる。夜間想定での避難訓練時、職員は、シートを使って2階から利用者を降ろす訓練を経験された。冷蔵庫、ロッカー等には、転倒防止金具を取り付けておられる。地域の避難訓練に職員が参加して、地域の方達とともに災害時の対応について学ばれた。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)  理念に「尊厳の保持」を掲げており、利用者のプライバシーを大切に、言葉掛けや対応には十分配慮をするよう心がけている。	
			(外部評価)  職員は、一人ひとりを「傷つけない声のかけ方」に気を付けておられ、「自分がされたり、言われて嫌なことはしない、言わない」ことを心がけておられる。調査訪問時、食後の歯磨きを終えて口紅を直された利用者、職員は「きれいな色ですね。とっても若々しくなられました」と声をかけられ、利用者は「そお、ありがとう。若く見える？」と笑顔で応えておられた。毎朝早く、下着やパジャマをご自分で洗濯し、ベランダに干す利用者もあり、利用者のできることをそっと見守って支援されている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)  本人の話を良く聞いて、思いや希望に少しでも近づけるように、また自己決定出来るよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりのペースに合わせて希望に添えるよう支援してい る。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) 洋服や髪型は、本人の意思を尊重し個性に合ったおしゃれ が出来るよう支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食欲が増すように彩りや盛り付けを行って利用者スタッフが一 緒に準備・食事・後片付けを行っている。食事があまり進 まない利用者には、食べやすい形態にして摂取しやすいよ う工夫している。	
			(外部評価) 昼・夕食は、隣接の法人内の厨房で準備されたものが届き、 各ユニットで刻んだり、ミキサーにかけたり、とろみを付ける 等、個々の状態に応じて調理され盛り付けされている。調査 訪問時、食欲が出ない利用者には、小皿にいろいろなもの を少しずつ盛り付け、はしを付けやすく配慮されていた。職 員も利用者とテーブルを囲み、サポートしながら同じ食事を 食べておられた。食後に下膳されたり、お盆を拭いてくださ る利用者の様子がみられた。食事制限のある利用者も、時 には、食べたいものが食べられるように柔軟に対応されてい る。また、利用者がお世話して実ったキュウリで酢の物やサラ ダを作り、みなで楽しむこともある。外で芋炊きやバーベ キューを楽しむこともある。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 管理栄養士がカロリー計算をしてくれている。透析患者が多 いので水分管理には十分気をつけて提供している。また食 事も一人ひとりに合わせて提供している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後に口腔ケアの声かけを行い、自分で出来ない人には スタッフが介助をして施行している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	紙パンツを使用している利用者に尿意があることが分かり、職員はサインを察知して、トイレで排泄できるよう支援し、現在は、布パンツで過ごされているような事例もある。	
			個々の排泄パターンを知り、ADLが低下しないようトイレ誘導を行いトイレで排泄が出来るよう支援している。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	透析患者が多い為、便秘予防の為に飲食物を多く摂る事は難しく下剤でのコントロールが中心になっている。出来るだけ散歩や運動をして便通を良くするよう支援している。透析患者でない人には、牛乳やヨーグルトをお出ししている。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	入浴の際には、石けんを使用されたり、お気に入りのシャンプーを使う利用者もいる。ご本人の希望で夕食後にひとりで入浴される利用者には、職員が、時々そっと見守り、時にはサポートしながら支援されている。もともと入浴がお嫌いな利用者の方には、散歩の後に声かけをする等、入浴につながるようタイミング等に工夫されている。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	一人ひとりの活動のペースや状況に応じて適宜居室で休息したり、心地よい入眠が出来るよう支援している。また、寝かせきりにならないように時間を決めて休んで頂いている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者が内服している薬は、スタッフ全員が把握できるようPCで申し送りをし確認を行っている。ほとんどの利用者の薬は、スタッフが管理を行っており病状の変化の確認に努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 日々の生活の中でその人の役割となる物を見つけ、その人の力を活かせるような手伝いをして頂いている。また、レクリエーションを通じて楽しみを持って貰えるよう支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 本人の希望に沿って散歩や買い物に出かけたり、外出レクリエーションでいろんな場所に出かけられるよう支援している。また誕生日には、本人の希望に沿って馴染みの場所や会いたい人に会えるよう個別支援を行っている。	
			(外部評価) 利用者の誕生日には、ご本人が希望するところに出かけられるよう支援されている。ご自宅に戻ってみられる方もいる。季節毎のお花見や回転寿司等に外食されたり、買い物等に出かけておられる。出かけた際には、お好きなアイスクリームやたこ焼きを食べて帰ることもある。市民会館に観劇に出かけたり、法人の文化センターの文化祭も見学に出かけられた。今年から、法人の有料老人ホームの利用者と合同で外出する機会も多く作られている。調査訪問時には、職員と一緒に散歩に出かける利用者の様子がみられた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭管理出来る人は、ご自分で管理して頂いている。本人が管理出来ない人は、施設が預かり必要に応じていつでも使えるよう支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望があれば家族や知人に電話をしたり、手紙のやり取り出来るよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ベランダや中庭に利用者と一緒に花や野菜を植えて季節感を出している。共用の空間は、利用者にとって居心地のいい場所となるよう清潔に心がけている。	
			(外部評価) 玄関には、鉢植えの花が飾られていた。又、中庭には、朝顔が咲き、利用者と一緒にキュウリやトマトを育てておられる。時には中庭のベンチでお茶を楽しむこともある。共用空間の壁には、紙で作った干支のうさぎを飾っておられたり、行事の写真やホーム便りを掲示されていた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングの席は、なるべく気の合う仲間と座れるよう配慮している。また廊下にソファを置いたり、中庭にはベンチを置いたりして利用者が過ごしやすい居場所を作っている。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室には本人が使っていた家具や飾り物等馴染みの物を家族に持ってきて頂き、住み慣れた家と同じように安心して暮らせるよう支援している。	
			(外部評価) 仏壇・お位牌やタンス、テレビ、時計、椅子、シルバーカー等、利用者の使い慣れたものや馴染みのものを持ち込まれている。アイロン、アイロン台を準備されて、透析治療に行く際には、パジャマにアイロンを掛ける利用者もいる。お好きな絵画等を飾って、気分が優れないような時にも和めるような環境作りに配慮されている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 出来るだけ自立した生活が送れるよう出来る事は利用者にして頂いている。安全に生活出来るように、その人がわかりやすい空間作りに努めている。	